

関東ブロックPTA協議会声明文

令和6年7月22日
関東ブロックPTA協議会

日頃より各協議会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

まず、先日、公益社団法人日本PTA全国協議会（以下、「日P」）の元役員が背任の容疑で逮捕されたことについて、同じ日Pに関わる者として強く遺憾の意を表するとともに、何より各学校で活動されている会員の皆さまに対して心からお詫び申し上げます。

関東ブロックPTA協議会（以下、「関ブロ協議会」）は、関東地方にある14の県や政令市の協議会から構成されています。協議会が連携をし、情報交換を行うことでそれぞれの協議会の活動がより良いものとなるよう、それぞれの代表が年間を通して連絡を取り合っています。なお、関ブロ協議会に各協議会が参加する際には、会費は徴収していません。

関ブロ協議会としましては、昨年度より日Pの不明瞭な会計について全国の他の協議会にも協力を呼びかけながら、情報の開示や説明を求めてきました。しかしながら、当時の執行部からの反応は鈍く、いまだに明確な回答を得ることはできていません。

結果的に私たちの力不足もあり、このような形で逮捕者が出たことは残念でなりません。このことについては、捜査機関の今後の捜査を見守り、全容解明を待ちたいと思います。

しかしながら、昨年度の日P執行部の対応、また、現在の日Pの説明については、関ブロ協議会として納得できるものではありません。私たちは、日Pに対して説明と対応を引き続き毅然と求め、必ず会員の皆さまにお伝えすることをお約束いたします。このことは、構成員である各協議会が、PTA会員の皆さまから大切な会費をお預かりしていることを踏まえれば、当然のことと考えております。そして、日Pにおいて然るべき対応がなされなかった場合には、相応の対応をせざるを得ない強い覚悟を持っております。

日Pは、そもそも約750万人の会員を要するからこそ、全国からの意見集約と外部への強力な発信ができる重要な組織です。そのためには、皆さまに信頼いただくことがまず何よりも大切であり、運営や経理に関する情報開示と透明性の確保、そして必要がないOB・OGの関与の排除は徹底されなければなりません。さらに、OB・OGではない外部有識者を交えて、組織の抜本的見直しを図りながら全国の代表者の皆さまに積極的に関わっていただき推進していくべきであると考えております。

本来PTA活動は、子どもたちを真ん中にして、大人たちが支える活動です。その活動を通して学校に関わり、関係機関に意見をすることなどは、PTAにとって大事な役割です。もちろん、子どもたちの健全育成を目指す団体は、PTA以外にもさまざまなものがありますが、これまでのPTAのコミュニティをこれからの時代にあったものに皆さんと一緒に変えていくことで、より良い環境づくりができるものと信じています。

皆さまにおかれましては、これからも変わらずに、できる時に、できることを、できる範囲で子どもたちに関わっていただければと存じます。そして、関ブロ協議会とそこに所属する各県・市の協議会は、皆さまをサポートし、みんなでより良い環境づくりができるように最大限の努力を重ねてまいります。

以上、関ブロ協議会としての声明とさせていただきます。